

令和3事業年度 事業計画

(令和3年1月1日から令和3年12月31日まで)

1. はじめに

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、中央競馬の業績は比較的順調に推移しておりますが、感染の収束が長引いた場合、景気の低迷等による影響も懸念される状況となっております。

また、社会福祉の分野においては、少子高齢化や人口減少の下、社会福祉へのニーズは益々増大し、かつ、多様化しており、民間の福祉力の更なる向上が求められております。

こうした厳しい環境の中、公益財団法人として将来にわたり事業を安定的に進めていくため、コンプライアンスを遵守し、事業の公平性、透明性に引き続き十分配慮し、更なる社会福祉事業の発展に貢献できるよう努めて参ります。

2. 令和3事業年度の取組

(1) 社会福祉事業に対し施設整備等の助成を行う事業

民間社会福祉施設における環境の整備・充実に資するため、関連規程に則り、また事業へのニーズに柔軟に対応しうるよう引き続き適正かつ効果的な助成事業の実施に努めます。

(2) 社会福祉事業関係者の研修事業に対し助成を行う事業

今後の社会福祉事業における中核を担う人材の育成に資するため、民間社会福祉施設で働く職員を対象とした海外研修活動及び国内研修活動に対し、引き続き効果的な助成事業の実施に努めます。

なお、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により中止した令和2事業年度の海外研修(第48回生)については、令和4事業年度の延期実施に向け取り組みます。

(3) 中央競馬関係者の福利厚生の上向のための事業

関連規程に則り、事務手続を着実に実施し、引き続き福祉手当の適正な支給を行います。

(4) その他の業務

コロナ禍により、これまで以上に運用環境が悪化することが想定されますが、予算の効率的な執行に努め、管理業務を円滑に実施します。